

林 務 課

1 森林の概要

(1) 森林面積

上田地域の森林面積は65,712haで、森林率(総面積に占める森林の割合)は72.6%(県全体:77.9%)となっている。民有林の人工林率(国有林以外の森林のうち人工的に植栽等が行われた森林の割合)は53.7%(県全体:48.7%)と比較的高くなっている。(単位:ha、%)

区 分	総面積	森 林 面 積						森 林 率	民有林の人工林率
		国有林	民 有 林				合 計		
			人工林	天然林	その他	計			
上田市	55, 204	12, 058	13, 743	12, 830	951	27, 524	39, 582	71. 7	49. 9
東御市	11, 237	3, 751	1, 053	822	30	1, 905	5, 656	50. 3	55. 3
長和町	18, 386	8, 238	4, 756	2, 642	201	7, 599	15, 837	86. 1	62. 6
青木村	5, 710	940	2, 297	1, 338	62	3, 697	4, 637	81. 2	62. 1
計 (A)	90, 537	24, 987	21, 849	17, 632	1, 244	40, 725	65, 712	72. 6	53. 7
県計 (B)	1, 356, 160	368, 291	334, 930	333, 259	19, 878	688, 067	1, 056, 358	77. 9	48. 7
(A) / (B)	6. 7	6. 8	6. 5	5. 3	6. 3	5. 9	6. 2	—	—

(2) 民有林の樹種別面積

アカマツが22.2%、カラマツが31.5%を占め、2樹種で過半を占めている。アカマツの占める割合は県全体と比較して大きく上回っており、アカマツへの依存度が高い。

区 分	単位	スギ	ヒノキ サワラ	アカマツ	カラマツ	その他 針葉樹	広葉樹	計
人工林	ha	1,949	1,911	5,015	12,413	119	442	21,849
天然林	ha	3	3	3,752	8	84	13,782	17,632
計	ha	1,952	1,914	8,767	12,421	203	14,224	39,481
構成比	%	4.9	4.9	22.2	31.5	0.5	36.0	100.0
県計	ha	55,276	52,014	90,732	178,277	15,271	276,618	668,188
構成比	%	8.3	7.8	13.5	26.7	2.3	41.4	100.0

(3) 民有林における人工林の林齢別面積

森林の高齢林化が進み、51年生以上が全体の82.6%を占めている。

区分	単位	林 齢 (年 生)						計
		20 以下	21～30	31～40	41～50	51～60	61 以上	
上田地域	ha	519	349	1,076	1,866	5,479	12,561	21,850
構 成 比	%	2.4	1.6	4.9	8.5	25.1	57.5	100.0
県 計	ha	3,335	4,125	12,374	33,737	87,146	194,213	334,930
構 成 比	%	1.0	1.2	3.7	10.1	26.0	58.0	100.0

(4) 個人有林における森林所有規模別の林家数

森林所有面積が1ha以下の林家数が全体の74.1%を占め、県全体の67.2%を上回っている。

区 分	単位	所 有 面 積 規 模 (ha)					計
		1 以下	1.01～5	5.01～10	10.01～20	20 超	
上田地域	林家数	9,984	2,909	408	134	33	13,468
構 成 比	%	74.1	21.6	3.0	1.0	0.2	100.0
県 計	林家数	113,967	42,651	8,267	3,496	1,254	169,635
構 成 比	%	67.2	25.1	4.9	2.1	0.7	100.0

出典：(1)～(4) 長野県民有林の現況（令和6年版）

(5) 林業生産額の状況

管内の令和5年度の林業生産額（推定）は7億3,900万円で、全県の6%を占めている。

令和5年度の木材生産量は、民有林においてカラマツを主とする主伐が進んだが、国有林における木材生産量の落ち込みにより、令和4年度より約21千m³減少した。

【令和5年度 林業生産額（推定）】

種 類	生 産 量			生産額（単位：百万円）				備 考
	単位	全県	上田	全県	上田	占有率	構成比	
木 材	千m ³	439	41	6,051	563	9%	76%	国有林を含む
木 炭 等	トン	11	0	4	0	0%	0%	竹炭、木酢液、竹酢液を含む
薪	層積 m ³	16,376	113	256	2	1%	0%	
特用林産物	トン	8,203	296	6,048	174	3%	24%	くり、くるみは含まれない
林業用苗木	千本	1,971	—	328	—	—%	—%	
計				12,687	739	6%	100%	

出典：令和5年度長野県林業統計書・令和6年度木材統計

2 林業の振興対策について

(1) 林業従事者等の現状

管内の林業従事者は、平成25年度をピークに減少傾向にあるが、令和5年度は前年度に比べ11人（対前年度比9%）増加し、131人となった。

信州上小森林組合は、管内の林業従事者全体に対する区分比が39%（全県の森林組合平均30%）と高く、地域の中核的な事業体としての役割を果たすことが期待されており、今後とも人材の確保・育成等を強化していくことが求められている。

他の事業体についても、森林整備事業への従事を促進するため、引き続きセミナーや研修等を開催し、担い手の雇用による体制の強化とともに質的向上を図る。

ア 林業事業体、従事者の現状

（単位：団体、人）

区 分		事業体数		従事者数		区分比	
		管 内	全 県	管 内	全 県	管 内	全 県
森林組合		1	18	51	468	39	30
会 社	林業	8	103	49	765	38	50
	その他	3	16	11	79	8	5
個人営業体		4	43	20	116	15	8
その他（市町村・財産区・協同組合・NPO）		0	12	0	105	0	7
合 計		16	192	131	1,533	100	100

出典：令和5年度林業事業体等調査（調査対象年度：令和5年度）

イ 森林組合の概要

（単位：人、千円）

組合名	年度	組合員数	事業取扱高	職員数	技能職員数
信州上小森林組合	合併時（H7年度）	8,427	1,996,523	36	101
	H14年度	8,365	1,974,258	31	86
	H21年度	8,229	1,197,228	27	64
	H28年度	8,193	1,178,541	31	83
	R5年度	8,029	1,452,137	25	57
県平均	R5年度	4,537	426,667	16	31

出典：令和5年度等の森林組合一斉調査（調査対象年度：令和5年の各森林組合の事業年度）

(2) 県産材の利用促進

長野県県産材利用指針に基づき、公共施設等における県産材の利用を推進するとともに、型枠や杭など公共土木工事への積極的な県産材使用を関係機関と連携して推進している。

また、長野県森林づくり県民税を活用し、市町村や民間施設の木造・木質化、調度品・おもちゃの設置や暮らしの中の製品を県産材製品へ替える事業を推進してきている。

さらに、令和3年4月に上小森林認証協議会が森林認証（SGEC）を再取得（更新）し、認証森林の適正管理と認証材の生産・流通に取り組んでいる。

ア ウッドチェンジ普及促進支援事業（令和6年度実績）

（単位：円）

市町村	事業主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額
上田市	(株)ウッドテック秋富	県産材を活用したサッシの開発	5,244,984	1/2 以内	2,000,000
上田市	フォレストライフ協同組合	県産材を活用したノベルティの開発	1,952,434		884,000
計			7,197,418		2,884,000

イ 木材産業成長産業化促進対策事業

（単位：千円）

区分	事業主体	市町村	施設整備内容	事業費	補助金額
R5年度 (R6へ繰越)	(株)マルオカ	東御市	柱加工機等一式	450,000	223,601

ウ 上田地域のSGEC認証森林

上小森林認証協議会会員	森林の名称	※森林面積 (ha)
上田市	上田市有林	2,635.63
	上田市東御市真田共有財産組合有林	1,574.49
	武石財産区有林	1,246.98
東御市	東御市有林	38.71
	滋野財産区有林	23.45
長和町	長和町有林	1,400.52
	古町財産区有林	215.45
	大門財産区有林	1,155.56
	長久保財産区有林	130.54
青木村	青木村有林	33.22
	青木村及び上田市共有財産組合有林	439.12
長野県	長野県営林（上田地域分）	540.59
信州上小森林組合	信州上小森林組合有林	8.63
計		9,442.89

※ 第1期森林認証は平成28年4月に8,971haで取得、第2期森林認証は令和3年4月に9,442haで更新

3 林業・山村の活性化対策について

(1) 野生鳥獣による被害発生状況

令和5年度の野生鳥獣による農林業被害額は約7,418万円、対前年比99%で、カラス及びニホンジカの被害額が約4,901万円で全体の約66%を占めている。この被害対策として、捕獲及び侵入防止柵設置等を実施している。

【野生鳥獣別の被害額】

(単位:ha、千円)

区 分			令和４年度		令和５年度		主 な 被 害 作 物
			被害面積	被害額	被害面積	被害額	
農 業	鳥 害	スズメ	142.1	4,573	10.2	5,108	稲
		カラス	59.2	21,161	59.6	21,676	果樹
		ヒヨドリ	32.3	1,036	31.5	1,031	野菜、果樹
		ハト	4.7	196	9.0	587	豆類
		その他鳥類	11.2	474	3.1	351	果樹
		小計	249.5	27,440	113.4	28,753	
	獣 害	ツキノワグマ	1.5	925	3.4	761	野菜、果樹、飼料作物
		イノシシ	31.0	4,353	21.2	3,923	野菜、果樹、いも類
		ニホンジカ	91.1	25,581	88.1	26,648	稲、野菜、果樹、豆類
		カモシカ	1.3	221	2.9	662	野菜、果樹
		ハクビシン	53.7	9,464	50.7	11,899	野菜、果樹
		その他獣類	3.8	1,330	3.0	853	稲、野菜、果樹
		小計	182.4	41,874	169.3	44,746	
	計		431.9	69,314	282.7	73,499	
林 業	獣 害	ニホンジカ	6.2	4,928	5.3	684	カラマツ
		その他獣類	0.4	509			
	計		6.6	5,437	5.3	684	
合計			438.5	74,751	288.0	74,183	対前年額比 99% R5 県全体の 10%
長野県全体				738,012		774,674	

出典：林務課、農業農村支援センター資料

(2) 野生鳥獣による被害対策の状況

野生鳥獣による農林業被害は、経済的な損失はもとより、地域住民へ精神的なダメージを与えていることから、市町村が行う捕獲などを支援するほか、平成19年度から林務課、農業・農村支援センター等により構成される野生鳥獣被害対策チームを組織し、市町村と連携しながら、被害集落に対して電気柵設置などの「集落ぐるみの被害対策」に取り組んでいる。

ア 野生鳥獣総合管理対策事業の実績及び計画

(単位：千円)

事業種目	令和6年度実績			令和7年度計画(要望)		
	事業内容	事業費	補助金額	事業内容	事業費	補助金額
ツキノワグマ移動(学習)放獣	30頭	2,282	1,127	39頭	3,245	1,623
鳥獣被害対策実施隊員支援	244人	329	165	250人	405	203
銃猟者確保育成支援	0人	0	0	54人	490	245
捕獲檻等購入支援	35基	216	108	30基	218	108
広域捕獲支援	1式	527	250	1式	500	250
計		3,354	1,650		4,858	2,429

イ 鳥獣被害防止総合対策交付金の実績及び計画

(単位：千円)

事業の種類	令和6年度実績(含シカ特別対策)			令和7年度計画(要望)		
	事業内容	事業費	補助金額	事業内容	事業費	補助金額
緊急捕獲活動 支援事業 (個体数調整)	シカ 2,606 頭	40,435	13,773	シカ 2,780 頭	38,920	19,460
	イノシシ 270 頭	4,115	1,378	イノシシ 320 頭	4,480	2,240
	ハクビシン 68 頭	1,009	59	ハクビシン 240 頭	480	240
	カラス類 115 羽	58	23	カラス類 500 羽	200	100
				捕獲確認アプリ	200	100
推進事業				1 団体	5,070	4,920
計		45,617	15,233		49,350	27,060

ウ 野生鳥獣の捕獲状況

(単位：羽、頭)

種別	令和4年度			令和5年度		
	狩猟	有害鳥獣駆除 ・個体数調整	計	狩猟	有害鳥獣駆除 ・個体数調整	計
スズメ類	51	7	58	60	28	88
カラス類	3	1,096	1,099	3	928	931
ハト類	64	47	111	33	9	42
その他鳥類	269	7	276	156	20	176
鳥 類 計	387	1,157	1,544	252	985	1,237
ニホンジカ	438	2,668	3,106	223	3,085	3,308
ツキノワグマ	0	17	17	0	40	40
カモシカ	非狩猟獣	0	0	非狩猟獣	2	2
イノシシ	77	263	340	24	395	419
ハクビシン	0	244	244	6	255	261
その他獣類	0	596	596	12	761	773
獣 類 計	515	3,788	4,303	265	4,538	4,803

出典：林務課資料

(3) 特用林産物振興対策

地域振興に寄与する特用林産物の振興を図るため、研修会の開催などにより生産者の事業活動強化を図っている。

【特用林産物生産量の推移】

(単位：きのこ類・木炭等・山菜類 トン、薪 百層積m³、%)

区 分	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		前年度比	
		全県		全県		全県		全県		全県
きのこ類	867	7,146	807	8,744	473	8,418	292	8,121	62	96
ナメコ	845	4,355	784	5,687	439	5,401.7	251	5,039.4	57	93
マツタケ	1.0	8.6	2.1	31.8	1.8	22.6	0.1	11.1	6	49
生シイタケ	21	2,782	19.3	3,017	32.2	2,985.3	39.6	3,070.5	123	103
木炭等	3.2	37.5	3.2	28.9	2.9	21.6	0	10.5	0	48
薪	0.4	114	0.6	249	0.5	161.1	1.1	163.8	220	102
山菜類	10.5	112	10.5	99	7.4	91.0	3.9	77.9	53	86

出典：令和5年度長野県林業統計書

(4) 森林環境教育の推進

次代を担う子供たちや地域住民に、身近な森林や森林資源を活用した活動等を通じて健全な森林の育成に対する意識の高揚を図っている。

ア みどりの少年団の現況（令和7年4月現在）

（単位：団、人）

地区	団数	小学生	中学生	計	活動内容等
上田	11	1,120	0	1,120	U E 森植樹の集い・交流集会等への参加、キノコ栽培・木工体験・森林教室等の実施
県全体	176	20,789	3,240	24,029	県全体はR 6 年 4 月現在

イ 森林環境教育に係る森林づくり県民税活用事業の実績

区分	事業名	事業主体名	活動内容
H29	木育推進事業（木育活動型）	上田市立傍陽小学校	学校周辺の森林を活用した森林学習他
H30	木工体験活動支援事業	（公財）身体教育医学研究所	県産材を活用した木工体験活動
	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 元	木工体験活動支援事業	上田市立南小学校	県産材を活用した木工体験活動
R 2	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 3	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 4	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 5	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備

4 森林整備について

(1) 森林整備の推進

森林資源の循環、森林の有する多面的機能の持続的発揮を図るため、路網整備や高性能林業機械の導入等も進めながら主伐・再造林や搬出間伐を主体とした森林整備を推進しており、これに伴い素材生産量も伸びている。

【素材生産量の推移】

（単位：m³）

区 分		H20①	H25	H30	R 4 ②	R 5 ③	③／②	③／①
全 県	国有林	136, 354	183, 927	216, 592	174, 935	169, 802	97. 1	124. 5
	民有林	169, 010	284, 078	354, 584	388, 878	368, 691	94. 8	218. 1
	計 A	305, 364	468, 005	571, 176	563, 813	538, 493	95. 5	176. 3
上 田 地 域	国有林	28, 591	24, 489	49, 846	25, 793	3, 371	13. 1	11. 8
	民有林	19, 378	32, 123	39, 216	45, 467	46, 821	103. 0	241. 6
	計 B	47, 969	56, 612	89, 062	71, 260	50, 192	70. 4	104. 6
	B／A	15. 7%	12. 1%	15. 6%	12. 6%	9. 3%	—	—

出典：長野県木材統計（暦年実績）

(2) 里山整備の推進

長野県森林づくり県民税を活用して集落周辺の里山の整備も進めており、第3期に引き続き第4期においても「防災・減災」及びより多くの県民が里山の森林に親しめるよう「開かれた里山」の整備に取り組んでいる。

ア 里山整備方針の「防災・減災」優先整備箇所（令和5年5月時点）

市 町 村 名	上田市	東御市	長和町	青木村	計
優先整備箇所数	33 箇所	15 箇所	24 箇所	14 箇所	86 箇所
対象区域森林面積	377 ha	134 ha	198 ha	136 ha	845 ha

イ 上田地域の里山整備利用地域認定状況（令和7年5月末現在）

認定年月日	市町村名	地域名	活動を推進する地域団体の名称
H30年10月25日	上田市	霊泉寺温泉	霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクト
〃	〃	飯 沼	里山環境整備プロジェクトチーム
H31年3月19日	青木村	村 松 西	村松西地区里山整備利用推進協議会
〃	上田市	鹿教湯温泉	鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト
R5年11月21日	東御市	和	和地区里山整備プロジェクトチーム
R6年2月15日	上田市	鈴 子	鈴子緑のフォレスト倶楽部

(3) 松くい虫防除対策の推進

管内の松くい虫被害は、昭和59年に上田市で確認されて以来、4市町村で発生しており、令和6年度の被害量は11,317 m³(対前年度比106%)で、県全体の18.8%を占め、松本、長野地域に次ぐ被害量となっている。

平成14年度までは被害木の全量駆除を実施したが、平成15年度からは「守るべき松林」及び「周辺松林」において「集中と選択」により、被害木の伐倒駆除や樹種転換等の防除対策を集中的・効果的に実施している。

ア 被害の推移

(単位：m³、%)

区 分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
上田管内	21,342	16,454	12,194	9,144	8,213	10,679	11,317
長野県	71,996	70,440	64,022	51,443	48,080	55,280	60,015
対全県比率	29.6	23.4	19.0	17.8	17.1	19.3	18.8

(R7年5月林務部資料)

イ 防除対策の実績

(単位：材積 m³、面積 ha)

区 分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
伐倒駆除材積	8,698	7,014	5,048	3,447	4,296	5,962	6,627
地上散布面積	0	0	0	0	0	0	0
樹幹注入面積	4	2	2	1	1	1	1
樹種転換面積	13	9	9	13	14	5	4

(4) 林地保全対策の推進

山地災害から住民の生命、財産を守り、森林の公益的機能に対する社会的要請に対応するため、災害の防止や水源かん養等の機能の確保・向上を目的に治山事業を実施している。

また、保安林機能の維持増進のため、保安林の適正な配備を行うとともに、保安林整備事業を実施している。

【治山事業：令和6年度実績及び令和7年度計画】

(単位：箇所、千円)

事業名	令和6年度実績 ※2		令和7年度計画		対前年度比	
	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費
復旧治山（2か年国債）※1	1	109,005				
復旧治山（R6補正）※3	1	70,000				
機能強化・老朽化対策	2	71,500	2	119,900		
保安林総合改良			2	6,600		
保育	1	6,941	1	4,200		
予防治山	1	63,316	1	46,200		
林地荒廃防止 ※3	1	36,300				
公共治山計 ①	7	357,062	6	176,900	86%	50%
県単治山 ②	4	12,804	4	15,198	100%	119%
計（①＋②）	11	369,866	10	192,098	91%	52%

※1) 2か年国債（令和5・6年度）の事業費は、令和6年度分を計上

※2) 令和6年度実績には、7年度への繰越（※3）を含む

※3) 計2箇所（復旧治山（R6補正）1箇所・林地荒廃防止1箇所）、繰越事業費106,300千円

【令和7年度治山事業計画箇所一覧】 ※予算区分は全て令和7年度当初

番号	事業名	市町村名	箇所名	新・継	工種
1	保安林総合改良	上田市	小泉日向	新	測量調査1式
2	保安林総合改良	上田市	小泉日向	新	森林整備（本数調整伐0.36ha他）
3	保育	上田市	野倉	新	森林整備（本数調整伐4.96ha）
4	予防治山	上田市	栗尾沢	新	谷止工（コンクリート）1個294m3
5	機能強化・老朽化対策	上田市（武石）	ホドガイ	新	谷止工（コンクリート）1個448m3
6	機能強化・老朽化対策	上田市（丸子）	東原	新	谷止工（コンクリート）1個316m3
7	県単治山	上田市	岳ノ尾・大谷	新	地すべり防止施設点検巡視、維持管理
8	県単治山	上田市	大久保	新	測量・設計1式
9	県単治山	東御市	七尋石	新	落石固定工1式
10	県単治山	長和町	本沢	新	測量・設計1式